

1	市がサーバ等の機器を持たずに利用できるクラウドサービス利用型のシステムであり、サービス提供基盤としてLGWAN-ASPのASPコードを取得、証明できること。
2	サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器等の情報システムが設置されている建物（情報処理施設）の重要な物理的セキュリティ境界に対し、従業員及び出入りを許可された外部組織等に対する入退室管理を行い、入退室記録を作成し、適切な期間保存すること。重要な物理的セキュリティ境界に対して監視カメラを設置し、その稼働時間と監視範囲を定めて監視を行うこと。また、監視カメラの映像を予め定められた期間保存すること。
3	サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器等の情報システムは国内法の適用が及ぶ場所に設置すること。
4	複数の端末から同時に管理画面を利用できること。
5	原則、24時間365日利用可能であること。
6	システム停止を伴うシステムメンテナンスを実施する場合は、30日以上前に市に連絡すること。
7	市のシステム利用者に対して、それぞれ利用者IDを付与し、利用者名、パスワード、利用権限を設定管理できること。
8	市のシステム利用者情報は、CSV形式で取込み、一括で登録、変更、削除ができること。また、登録しているシステム利用者情報をCSV形式で出力できること。
9	予約者用画面（インターネットを通じて市民が利用するサイト）とコールセンター用画面（電話予約の入力に使用する）と管理画面（市のシステム利用者が利用する）を用意すること。
10	管理画面は、市のシステム利用者に対して利用権限を設定することにより、操作できる機能を設定できること。
11	マイナンバーカードの交付予約以外の手続き（電子証明書発行・更新など）の予約にも対応できること。
12	予約者用画面では、予約可能な空き状況が表示されたカレンダー画面上の日時をクリックすることで、予約登録を行えること。
13	予約者用画面では、予約照会、変更、キャンセルを行えること。
14	マイナンバーカードの受取予約について予約者が予約を入力する際は、同一人の重複予約を防止できること。
15	予約者用画面は、パソコン、スマートフォン及びタブレット等の端末毎に、画面サイズが自動調整された状態で利用できること。
16	予約者用画面は、空いている予約枠がカレンダー形式で表示され、予約者が空いている予約枠を選択して予約できること。
17	予約者用画面は、設定された予約枠のうち、残枠のみが表示され、予約枠の総数は表示されないこと。
18	予約者用画面は、操作方法に関するヘルプ画面及びFAQ画面へのリンクがあること。また、市のシステム利用者によるFAQ画面編集機能を有すること。
19	予約者用画面に、予約時の注意点などの市民へのお知らせを表示できること。また、市のシステム利用者によるお知らせ画面編集機能を有すること。
20	予約者用画面で、交付時来庁方式の予約入力の際に管理番号（J-lis作成の、マイナンバーカードのカード発行一覧及び交付通知書に記載されている製造管理番号）の入力を必須にできること。
21	予約者用画面で、申請時来庁方式の予約入力にも対応していること。申請時来庁方式の予約では、メールアドレス、氏名、生年月日を必須入力項目に設定できること。
22	予約者用画面での予約入力時に氏名及び住所などの個人情報を入力しない予約入力を可能にするよう、設定できること（管理番号・生年月日・電話番号・メールアドレスなどの個人を特定できない情報は入力可）
23	予約者用画面で、予約入力の際にメールアドレスの入力を必須にできること。また、入力されたメールアドレス宛に、受付番号とパスワードを記載した予約完了の通知を自動送信すること。
24	予約完了の通知に記載された受付番号とパスワードを用いて、予約者が予約照会、予約キャンセル、予約変更を行うことができること。予約キャンセル、予約変更を行った際は、その内容を記載したメールが自動送信されること。
25	コールセンター用画面では、予約の代行（窓口で受け付けた予約、電話で受け付けた予約の入力）ができること。また、予約キャンセル及び予約変更の代行ができること。
26	コールセンター用画面では、予約内容に備考の入力ができること。
27	管理画面は、LGWANを通じてアクセスできること。
28	必要に応じて、予約サイトの公開／非公開を設定できること。
29	管理画面では、予約登録状況をカレンダー形式で表示できること。また、個別の予約内容について入力された内容を確認できること。
30	管理画面では、曜日毎又は毎日に窓口開庁時間の設定ができること。窓口開庁時間外には予約できないこと。
31	管理画面では、予約の有効開始日、終了日を設定、変更できること。
32	管理画面では、予約枠の時間を設定、変更できること（例：1枠30分 など）
33	管理画面では、曜日毎又は毎日に予約枠の最大件数を設定、変更できること（例：30分あたり6人まで など）
34	管理画面では、予約の受付開始（予約日の14日前から予約可能 など）、受付締切（予約日の2日前まで予約可能 など）を設定できること。
35	管理画面では、予約キャンセル及び変更の受付締切（予約日の2日前まで可能 など）を設定できること。
36	管理画面では、日付け又は期間を指定して、期間中の予約について検索し、一覧表示できること。また、その一覧を帳票印刷及びCSV形式で出力できること。
37	J-lis作成のカード発行一覧のQRコードを読み込み、管理簿として画面にデータを表示するとともに、当該管理簿をJ-lisからのカード納品後の交付前設定等の交付前処理、交付予約、交付処理、廃止及び廃棄処理の進捗・状態管理の基礎情報として利用できること。
38	J-lis作成のカード発行一覧のQRコードを読み込む際に、重複してQRコードを読み取った場合はエラーとなること。
39	J-lis作成のカード発行一覧のQRコードを読み込んだ際に、取り込んだデータ分の製造管理番号については簡易な操作で一括登録できること。

40	管理簿で、J-lisからのカード納品後の交付前設定等の交付前処理、交付予約、交付処理、廃止及び廃棄処理の進捗・状態管理を一元管理できること。また、生年月日や管理番号などにより情報を検索し、管理簿の内容の編集及び削除ができること。
41	管理簿では、以下の項目を管理できること。 検品日、検品結果（転出・死亡など）、再交付か否か、再交付理由（紛失・国外転出など）、交付通知書発送日、交付通知書返戻日、交付取りやめ日、交付取りやめ理由、再発行処理日、交付日、備考、交付督促発送日、廃止日、廃止理由、廃棄日、廃棄理由
42	管理簿のデータを、抽出条件を指定してCSV形式で出力できること。
43	管理簿のデータを条件を指定して検索し、対象を選択して「検品日」「交付通知書発送日」「交付日」の一括更新ができること。
44	各カードの処理の進捗状況は、管理画面からも確認できること。
45	J-lis作成の電子証明書等の更新対象者リストをCSV形式で取込み、カード発行一覧の交付進捗状況と突合して管理できること。
46	管理者は、権限により、予約締切日が過ぎていても予約登録ができること。
47	管理者は、権限により、予約枠を超える予約登録ができること。
48	予約データは、リアルタイムに管理簿データと紐付き、職員側の機能で遅滞なく検索できること。